

原案：堀裕嗣氏ブログ [裕弁は銀・沈黙は金～堀裕嗣.com](http://yuya-hira.com) 2011.8. [マイクロディベート](#)
 脚色・具体化：山崎茂雄（教育エジソン）

1) 論題提示／個人ワーク

ワークシートを配り、論題を提示。両論とも理由・根拠を書かせる。

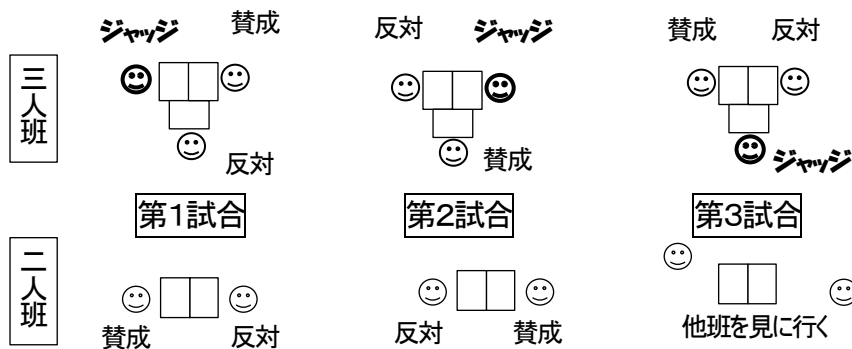
2) グループ作り →早見表参照

3人グループを作る。割り切れなければ、2人グループで調整。
 「役割カード」セットを班に配布。最初の役割を決める。

3) 進行方法 教員がストップウォッチで時間を知らせ進行

- ①賛成、反対が1分ずつ主張。ジャッジはすぐに判定し、「〇〇の勝ち。理由は……」と伝える。引き分けなし。1試合終わり。
 2人チームの判定は、自分たちで話し合っで決める。
- ②役割カードを回して役割を代え、第3試合まで繰り返す。
 2人チームの3試合目は他グループを見に行く。

9人	→	3人×3G
10人	→	3人×2G 2人×2G
11人	→	3人×3G 2人×1G
12人	→	3人×4G
13人	→	3人×3G 2人×2G
14人	→	3人×4G 2人×1G
15人	→	3人×5G
16人	→	3人×4G 2人×2G
17人	→	3人×5G 2人×1G
18人	→	3人×6G
19人	→	3人×5G 2人×2G
20人	→	3人×6G 2人×1G
21人	→	3人×7G
22人	→	3人×6G 2人×2G
23人	→	3人×7G 2人×1G
24人	→	3人×8G
25人	→	3人×7G 2人×2G
26人	→	3人×8G 2人×1G
27人	→	3人×9G
28人	→	3人×8G 2人×2G
29人	→	3人×9G 2人×1G
30人	→	3人×10G



4) メンバーチェンジ

- ①最後の試合で賛成の生徒が右回りで隣の賛成の席へ。
 反対の生徒が左回りで隣の反対の席へ。ジャッジは動かない。
- ②二人班も同じ移動ルールに従う。
- ③2回目のチェンジもこれをくり返せば、常に新しい組み合わせになる。

